

あまがさき

しぜん

尼崎の自然

ハンドブック



ヒメボタルくん



デンちゃん

令和6年3月
尼崎市

Q. いもの なんの生き物のシルエットかな？あててみよう！

いもの **ヒント** p.02 にのっている生き物たちだよ

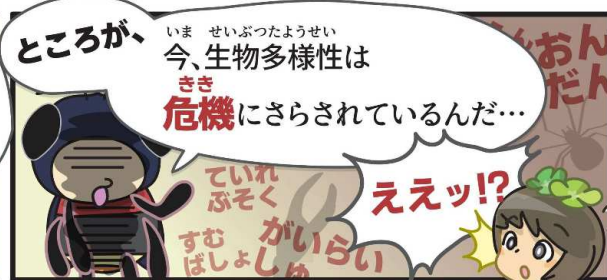
せいぶつ たようせい
生物多様性とは



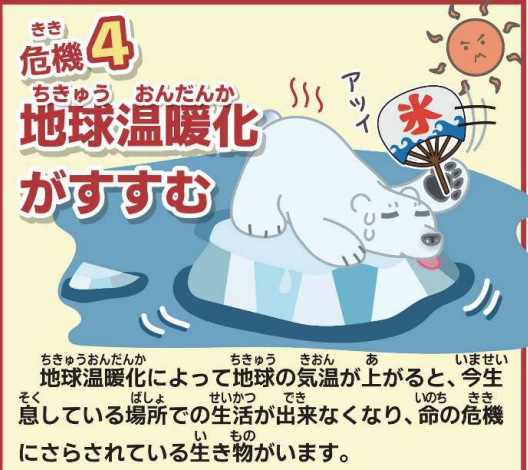
い もの じぶん あ かんきよう く
 生き物はそれぞれ自分に合った環境で暮らしているよ。
 いろん かんきよう
 いろんな環境があればいろんな生き物がすめるよね。



せいぶつ たようせい おんけい
生物多様性の恩恵



せいぶつ たようせい きき
生物多様性の危機



わたし
■ 私たちにできること

① 体験しよう

さわったり、聞いたり、匂ったり、生き物たちの素敵な世界をのぞいてみよう!

このハンドブックを持ってあまがさき みちか しぜん で 尼崎の身近な自然に出かけよう!

こうえん 公園	15ページ
かわ 川	19ページ
かはりん 河畔林	23ページ
たはた 田畑	27ページ
すいろ 水路	29ページ
うみ 海	29ページ
うんが 運河	

② 選ぼう

MSCI海のエコラベル
数の減りすぎない方法で獲られた魚のマーク

FSC®
森林保全につながる製品のマーク

レインフォレスト・アライアンス認証
ひと しぜん よ 人と自然の良い未来につながる農法で生産された製品のマーク

MSCI海のエコラベル
数の減りすぎない方法で獲られた魚のマーク

有機JAS
農業などに頼らない食品のマーク

いろいろな環境ラベル

かんきょう 環境ラベルのついた商品を選ぼう!

エコバッグも忘れずにね!

かんきょう はいりよ 環境に配慮をした商品についているマークだよ

あまがさき やさい 尼崎でとれた野菜を食べて、あまがさき たはた 尼崎の田畑とそこにすむ生き物をまもることができるね

あまがさき やさい 尼崎でとれた野菜や旬のものを食べよう

あまがさき やさい 尼崎の田畑とそこにすむ生き物をまもることができるね

③ 伝えよう

自然のすばらしさをみんなに伝えて生き物好きを増やそう!

はっぴょうかい 発表会

SNS

いいね いいね いいね いいね

④ つながろう

いろいろな人とつながることで、一人では守り切れない自然を守ることができるんだ。

ちいき 地域 かつどう 活動にさんか 参加してみよう

かんさつかい 観察会

かんきょう 環境 イベント

何でトリさん?

調べてみよう

ほか 他にも、

ガーデニングをしたり、ちきゅうおんだんか たいさく 地球温暖化対策に取り組むのもいいね

グリーンカーテン

節電

打ち水

わたし 私たちにもできることがたくさんあるんだね。 やってみよー

■ 尼崎の自然の昔と今



ところで、あまがさき しぜん 尼崎に自然ってあるの？

いま すく 今は少なくなっちゃったけど、むかし しぜん 昔は自然がいっぱいで、のうぎょう ぎょぎょう さか 農業も漁業も盛んだったんだよ

のうち しめ みどりいろ ぶぶん 農地を示している緑色の部分がたくさんあるね。かいがんせん いま かたち 海岸線も今の形とちがうね。

いま 100年くらい前



すなはま しおひが たの 砂浜で潮干狩りが楽しめました。(庄下川河口) あまがさきしつれきしほくぶつかんあまがさき 【尼崎市立歴史博物館尼崎アーカイブス所蔵】



う こえ なつ ふうぶつし イワシを売る声は夏の風物詩でした。あまがさきおき りょう (尼崎沖いわし漁) あまがさきしつれきしほくぶつかんあまがさき 【尼崎市立歴史博物館尼崎アーカイブス所蔵】



あぐらま た みず い 踏み車で田んぼに水を入れています。べつしよむら ひがしほんまち (別所村(東本町)) あまがさきしつれきしほくぶつかんあまがさき 【尼崎市立歴史博物館尼崎アーカイブス所蔵】

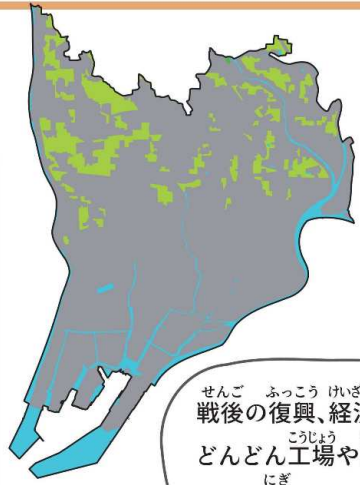


あまがさき みずべ ゆた さかな かい 尼崎は水辺が豊かで、魚や貝もと取れたし、川で洗濯もしていたよ



しぜん せいかつ みちか 自然は生活と身近だったんだね

いま 50年くらい前



のうち 農地にどんどん住宅が建てられました。ほんきゅうむこのぞうえきしゅうへん (阪急武庫之荘駅周辺) あまがさきしつれきしほくぶつかんあまがさき 【尼崎市立歴史博物館尼崎アーカイブス所蔵】

せんご ふっこう けいざいせいちょう 戦後の復興、経済成長とともに どんどん工場や家ができて、まちは賑やかになったけど……



のうち 農地がほとんどなくなってしまったんだね…



現在



こうじょうないに緑を植えるルールを作りました。こうじょうりよくか ようす (工場緑化の様子)



ごみでいっぱいだった場所をコスモス園にしました。(武庫川氾の渡しコスモス園)

なか のこ た まちの中には残っている田んぼや すいろ みぢか みどり ふ 水路もあるし、身近な緑を増やすために こうえん つく こうじょう いちぶ しょくぶつ 公園を作ったり、工場などの一部に植物を 植えたりしているよ。



のこ しぜん あたら しぜん 残された自然と新しくできた自然の りょうほう あまがさき 両方が尼崎にあるんだね。



あまがさき
 ■ これからの尼崎

これからはみんなでもっと
 ひと い もの
 人と生き物がすみやすい
 あまがさき つく
 尼崎を作っているよ。



みんなが「あまやさい」を
 た 食 べ て い る よ !



の うち まも
 農地が守られているよ !

み ち か し ぜん
 身近な自然にいろんな
 し ゅ る い もの
 種類の生き物があるよ !

せいふつようせい
 みんなが生物多様性について
 り かい
 理解しているよ !

い もの
 生き物がすみやすい、
 か わ
 きれいな川があるよ !

が い ら い し ゅ ふ
 外来種が増えないように
 たい ぐ
 対策がとられているよ !

が い ら い し ゅ
 外来種

い もの ふ あ
 生き物に触れ合える
 ば し ょ
 場所があるよ !

あまがさき りょくか おこな
 尼崎らしい緑化を行っているよ !

せいふつようせい はいりよ
 みんなが生物多様性に配慮された
 し ゅ る い ん か
 商品を買っているよ !

みどり なつ ひざ
 まちの緑が夏の日差しを
 や わ ら げ て く れ て い る よ !

い もの かんが
 生き物のことも考えながら
 か い つ
 開発をおこなっているよ !

はる はな なつ
 春の花やチョウチョ、夏のセミ、
 あき むし こえ ふゆ わた どり
 秋の虫の声、冬の渡り鳥。

そん な 季節の移り変わりが楽しめる
 ま ち に な る と い い な。



ヒメボタルがたくさんいるよ !

かはんりん
 エノキ・ムクノキの河畔林が
 まも
 守られているよ !

しぜん い
 自然を活かしたまちづくり
 おこな
 が行われているよ !

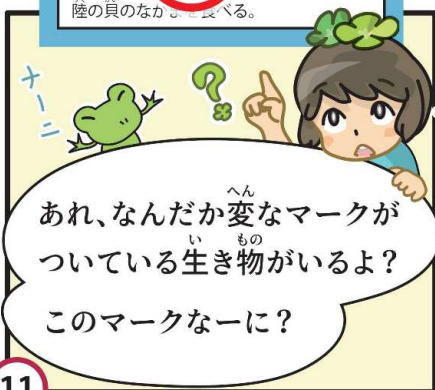
がっこう せいふつようせい まな
 学校でも生物多様性について学べるよ !

あまがさき い もの
 尼崎の生き物についての
 じょうほう かんたん しら
 情報が簡単に調べられるよ !

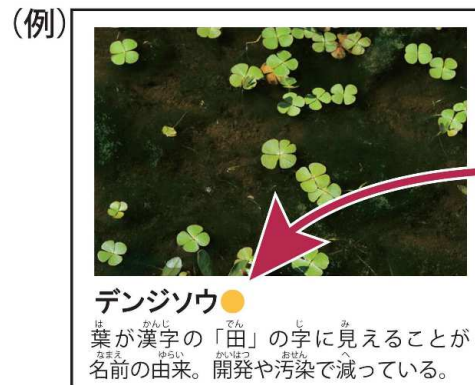
に さいご
 ペットは逃がしたりせず、最期まで
 せき に ん
 責任をもって飼っているよ !

い もの ふ あ
 生き物に触れ合えるイベントが
 た く さ ん あ る よ !

あまがさき い もの
■ 尼崎の生き物



あまがさき きしょうしゅ
尼崎の希少種

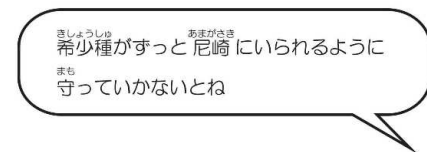


きしょうしゅ ● 希少種とは

希少種とは、人の活動によって、すむ場所やえさが減ってしまい、このままだと見られなくなるおそれがあると心配されている生き物です。国や兵庫県では、レッドリストとして見られなくなるおそれがある生き物をまとめています。尼崎市でも見られなくなりそうな生き物を希少種として、全部で128種を選んでいます。



僕も尼崎の希少種に選ばれているよ！



あまがさき きしょうしゅ けんさく
「尼崎の希少種」で検索

せかい きしょうしゅ
世界の希少種

世界では3万種以上の生き物が、見られなくなるおそれがある生き物とされています。その中にはホッキョクグマやジャイアントパンダなど有名なものから、昔はどこにでもいたメダカなども含まれています。

(例)



ニホンアマガエル ◆ (夏)

大きさ 20-45mm 緑や灰色など、環境の色に合わせ体の色を変化させる。

このマークが付いている生き物だよ！



●つながり種とは

多くの生き物は川や田畑、林などの特定の環境や、季節とのつながりがあります。特にすんでいる場所との結びつきが深い種や、季節を感じられる種を尼崎市では「つながり種」と呼び、全部で88種を選んでいます。



つながり種はみんなが知っている生き物や見つけやすい生き物が多く選ばれているよ！

どんな場所や季節とつながりがあるのか考えながら探してみよう！
マークの横につながりのある季節が書いてあるよ！



あまがさき しゅ
「尼崎のつながり種」で検索 🔍



又マガエル

カエルと環境・季節のつながり

カエルは、田んぼとのつながりが深い生き物です。生きていくためには、オタマジャクシがすめる水辺と、カエルがすめる陸地が必要で、その両方があるのが田んぼだからです。また、カエルは夏の初めごろに大きな声で一斉に鳴くことから、わたしたちに季節を感じさせてくれます。

(例)



オオクチバス ▲

大きさ 30-50cm 繁殖力が強くなんでも食べるため、在来種を食べつくす。

このマークが付いている生き物だよ！



●外来種とは

外来種とは、もともとその場所にはいなかったけれど、人が外国や他の地域から持ち込んですむようになった生き物です。

○外来種が増えるとだめなの？

外来種の中には、もともとその場所にいた生き物（在来種）を食べたり、えさやすむ場所を奪ったりして、在来種を追いやってしまうものもあります。外来種の中には、これ以上すむ場所を広げないように、法律でその場所から移動させることなどが禁止されている種もあります。



外来種は捕まえても、持って帰ったりしないでね



提供：環境省

ペットだったアライグマ・・・

ペットとして飼いきれなくなって野生へ逃げたアライグマは、数を増やし、畑を荒らして問題になっています。

か 飼えないからって 逃がしたら絶対にダメだね



で 出かけてみよう (1) 公園

公園にいる生き物

●: 希少種 ◆: つながり種 ▲: 外来種

いつも歩く通学路や公園で、生き物を探してみよう！
新しい出会いや発見があるかも♪



樹木のエリア



クスノキ
独特な香りを持つことから「臭し木」が名前の由来。



ケヤキ
街路樹などでよく見かける大きな木。木材としてもとても優秀。



ルリタテハ
大きさ 25-45mm。成虫は樹液や動物のフンにやってきて水分を吸うこともある。



メジロ◆
樹林環境を代表する種。大きさ 11cm ほど。体は黄緑色で目の周りが白い。



ツグミ
大きさ 24cm ほど。冬になるとシベリアから渡ってくる。木の実などを食べる。



みち 道ばたのエリア



シャリンバイ
5月頃に梅に似た白い花が咲き、秋には黒い実をつける。街路樹にも多い。



セイヨウタンポポ▲
春に黄色い花が咲く。草原からコンクリートの隙間まで、いろんなところにはえる。



スズメ
大きさ 12-15cm。人の近くで生活するため、街中でもよく見かける。



クマゼミ
大きさ 60-70mm。西日本に多いセミで主に午前中に「シャアシャア…」と鳴く。



ナミテントウ
大きさ 5-8mm。同じ種類なのにいろんな模様がある。アブラムシを食べる。



ショウジョウトンボ◆ (夏・秋)
大きさ 38-55mm。オスは全身真っ赤で、メスは茶色くて目立たない。



オオカマキリ◆ (秋)
大きさはオス 5cm、メス 15cm。メスは日本のバッタのなかで一番大きい。



ショウリヨウバッタ◆ (夏・秋)
大きさはオス 5cm、メス 15cm。メスは日本のバッタのなかで一番大きい。



スギナ◆ (春)
胞子を飛ばすため春に出てくるすがたは「ツクシ」と呼ばれ、食べられる。

くさか 草地や花だんのエリア



チガヤ◆▲ (夏)
草地でよく見られる種。初夏にしっぽのような白い穂をつける。



モチツツジ
春にピンク色の花が咲く。虫などから守るため、葉や果実はベタベタしている。



コアオハナムグリ
大きさ 10-14mm。背中全体に毛がはえている。花に顔をいれて花粉を食べる。



アオスジアゲハ◆
大きさ 30-45mm。樹木や花のまわりをめまぐるしく飛び回る。



モンシロチョウ
幼虫はアブラナのなかまの葉を食べるため、キャベツにいることもある。

こうえん かんさつ
●公園での観察のやりかた

ふくそう
○服装・もちもの

ながそでながスポン、ぼうし、むしとり網、タオル、すいとう、ぐんて、むしかご など



ねっちゅうしょう やくそく
○熱中症にならないための約束

- 帽子はかならずかぶること!
- こまめに水分をとること!
- 日陰で休憩をとること!

むしと わざ
○虫取りの技!



きけん い もの ちゅうい
●危険な生き物に注意



危険な生き物を見かけたときは、**絶対に近づいてはいけません!**

もし刺されたり、噛まれたりしたら、すぐ大人に知らせて
病院でみてもらいましょう!



あまがさき せいぎ もり
●尼崎 21世紀の森

尼崎の森中央緑地を中心に臨海部では、
森と水が豊かで、自然と人が一緒になって
生きていけるまちづくりを目指しています。

そこで、尼崎の森中央緑地では 100年
かけて、昔から尼崎や阪神間にはえていた
木々を植え、草地や湿地を作り、昔から
いる生き物たちができるだけたくさん
する生物多様性が豊かな森を作っています。



近くの山からタネを採ってきて森づくりを行っているのは、
とっても珍しい取り組みなんだよ!
緑化では日本一進んだ取り組みといわれているんだ



地域のタネから育てた苗を「地域性苗」っていうんだって!
地域性苗だから、尼崎に適した丈夫な森に育つね!



かつどう ようす
○活動の様子



森づくりだけでなく、私たちが自然と触れ合える場所や
環境について学べる場所にもなっているんだね。
楽しそうだなあ! 私もいってみようかな!



【問い合わせ先】

兵庫県立尼崎の森中央緑地 で検索

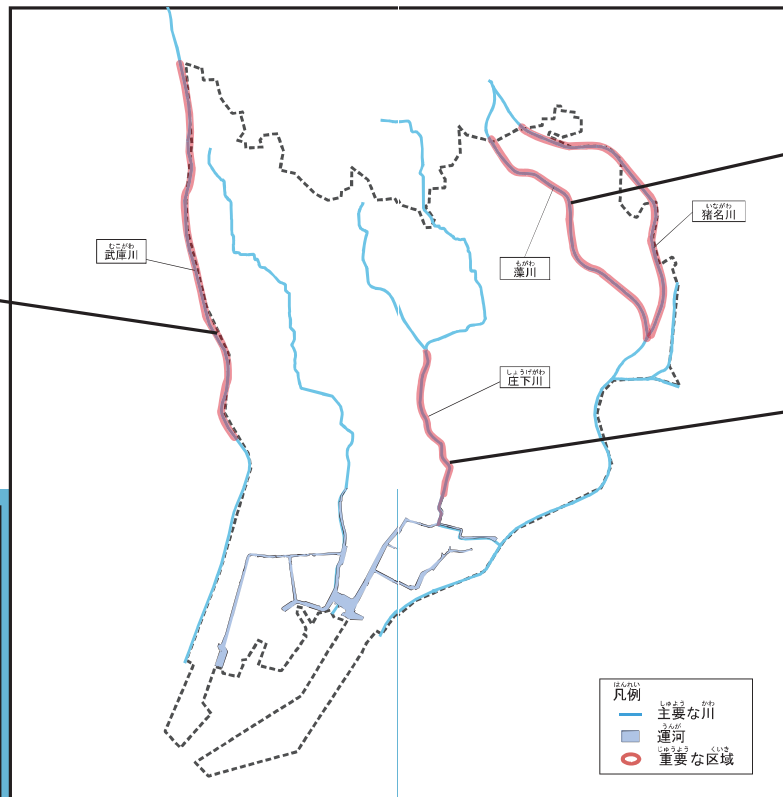


出かけてみよう (2) 川

武庫川



武庫川は、丹波篠山市を水源地とし、三田市や宝塚市、尼崎市などを通って、大阪湾に流れています。



猪名川・藻川



猪名川は、川辺郡猪名川町を水源地とし、猪名川町、伊丹市、尼崎市などを通って大阪湾に流れています。途中で藻川に分かれ、そのあと谷流します。

庄下川



庄下川は、様々な支流からできた川で、尼崎市の中心を通って大阪湾に流れています。

川にいる生き物

●: 希少種 ◆: つながり種 ▲: 外来種



イカルチドリ ●
 大きさ 19-21cm。春から夏にかけて、川原で子育てをする。



カワセミ ●◆
 水辺環境を代表する種。大きさ17cmほど。鮮やかな青の体色が美しい。



カワラサイコ ●
 日当たりのよい河原の乾いた砂地でみられる。6月～8月に黄色い花が咲く。



オオカワヂシャ ▲
 カワヂシャによく似ているが、葉のふちのギザギザは小さく自立たない。



カワヂシャ ●
 川の他に、水田や水路などにもはえる。葉のふちはギザギザしている。



シオカラトンボ ◆
 大きさ 50-55mm。オスは水色で、メスは黄色く「ムギワラトンボ」とも呼ばれる。



ヒメボタル ●◆ (春)
 大きさ 6-9mm。陸生のボタルで、幼虫は陸の貝のなかまを食べる。



ツマキチョウ ◆ (春)
 大きさ 20-30mm。春にだけ現れる。とがったはね先が黄色いとオス。



アメリカザリガニ ▲
 大きさ 100-150mm。水草を切ったり在来種を食べて、生態系を荒らす。



モクスガニ ◆
 川と海を行き来する種。大きさ 40-80mm。ハサミに毛が密にはえている。



ミシシッピアカミミガメ ▲
 昔ミドリガメとして売られていたものが野生化。生態系への影響が大きい。



アユ ●◆ (夏・秋)
 大きさ 10-30cm。春から夏にかけて川を遡る姿がみられる。



ミナメダカ ●◆
 大きさ 40mm。川のほかに水田や周辺の農業用水路にも生息している。



オオクチバス ▲
 大きさ 30-50cm。繁殖力が強くなんでも食べるため、在来種を食べつくす。

かわ かんさつ
●川での観察のやりかた

ふくそう
○服装・もちもの

ながくつ ライフジャケット、タオル、ずいとう、ぐんて、きんぎょ網 など



かわ あそ やくそく
○川で遊ぶときの約束

かなら おとな ひと いっしょ い
・必ず大人の人と一緒に！

あめ ふ ひ あめ あと
・雨が降っている日や、雨の後など

かわ みず ふ ちか
川の水が増えているときは近づかない！

はだし みずべ はい
・裸足で水辺に入らないこと！

かわ い ものさが わざ
○川の生き物探しの技！



かわ い もの まも
●川の生き物を守るために

きんしぜんこうほう
○近自然工法

川をできるだけ自然に近い状態にする技術を使って、川を整備しています。

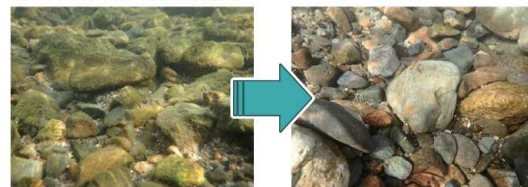
庄下川の一部では、水をきれいにするために川の底や岸に石を置いたりして、自然に近い川にする整備を行いました。その結果、生き物がすみやすくなり、水がきれいになったり、生き物の種類が増えたりしました。



さんらんばしよ まも と く
○アユの産卵場所を守る取り組み



いながわ さんらんばしよ しゅうへん かわ
猪名川ではアユの産卵場所やその周辺で、川の底に埋まっている石を掘り起こし、川底の石を動きやすくし、アユがより産卵しやすい環境づくりを行っています。



あまがさき み
●尼崎でもヒメボタルが見られる？

あまがさき むかし
尼崎でも昔はたくさんヒメボタルが飛びかっていたのですが、今では幼虫が好むしめりけの多い林や草地は少なくなってしまい、数が減ってしまいました。今は農業公園、猪名川や藻川の河川敷周辺でヒメボタルを見ることができます。

くら
○ゲンジボタルと比べて、ヒメボタルってこんなホタル！

りく うえ く
①陸の上で暮らす

ゲンジボタルの幼虫：水中
ヒメボタルの幼虫：落ち葉の下

ヒメボタルの幼虫は陸上にすむ貝の仲間を食べており、農業公園ではキセルガイ類がエサになっています。



キセルガイ類

ちい
②サイズが小さい

ゲンジボタル：12-17mm
ヒメボタル：6-9mm

ヒメボタルは1cm未満の小さなホタルです。



ゲンジボタル

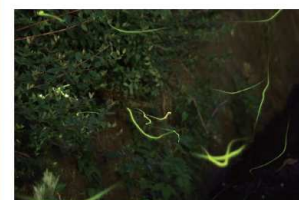


ヒメボタル

ひか すばや
③光りかたが素早い

ゲンジボタル：2秒に1回長く光る

ヒメボタル：1秒に2回フラッシュのように光る



ゲンジボタルの光り方



ヒメボタルの光り方

ゲンジボタルとヒメボタルは色はよく似ているけれど、背中にある模様で見分けられるよ！



がつちゅうじゅん がつじゅうじゅん ひか
5月中旬から6月上旬ごろに光っている姿が見られるよ！
みんな会いに来てね～！



来まき
てね

出かけてみよう (3) 河畔林

河畔林にいる生き物

●: 希少種 ◆: つながり種 ▲: 外来種



ヤブニッケイ
葉がよく茂るため公園のほか、自隠し目的で庭などにも植えられる。



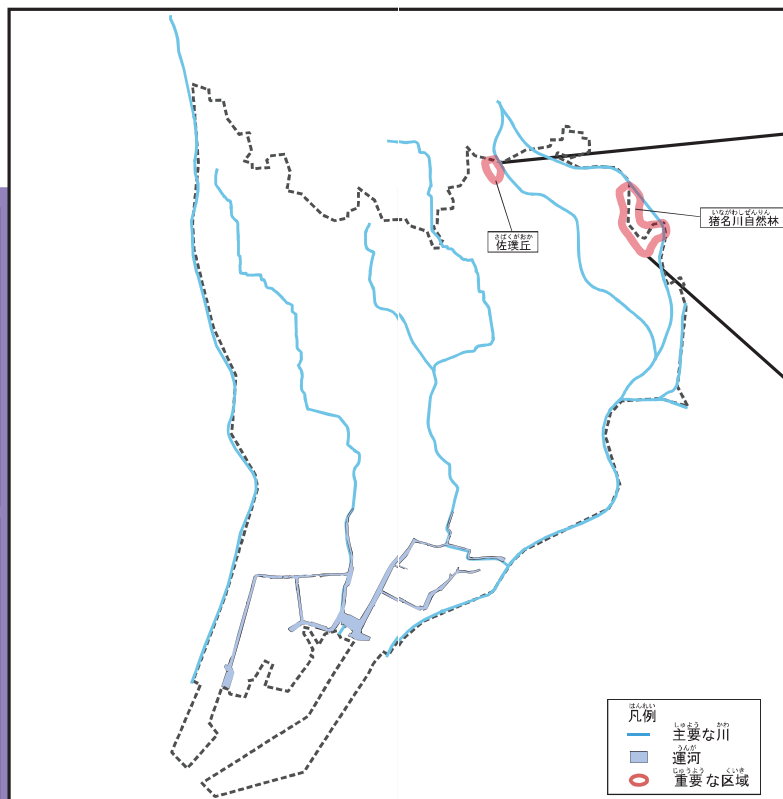
アキニレ
湿地や河原に多い。ニレの木のなかでも秋に花が咲くことが名前の由来。



ムクノキ◆(秋)
公園などでもよく見られる。秋になると黒紫色に熟す実は甘味がある。



エノキ◆(秋)
昔から「縁の木」とされ、日本各地の神社で御神木としても大切にされてきた。



凡例
— 主要な川
— 運河
○ 重要な区域

佐璞丘



瀬川の西側にあり、エノキやムクノキからなる樹林として今でも残っています。尼崎で昔の自然の姿が残っている場所のひとつです。

猪名川自然林



猪名川の旧堤防に存在していたエノキやムクノキ林です。昭和40年代の河川工事によってなくなる予定でしたが、市民の声の高まりにより自然林として残されています。



ミサゴ●
大きさが63cmほどのタカ。魚を好んで食べ、空中から急降下して魚をとる。



シジウカラ◆
大きさが14cm。「ツーピーツーピー」など20種類ほどある鳴き声を使い分けている。



エンマコオロギ◆(秋)
大きさが25-30mm。秋、成虫のオスは「コロコロリリー」と鳴く。



ゴマダラチョウ◆
大きさが70mmほど。樹液によくやってくる。幼虫は落ち葉の中で冬を越す。



コクワガタ●◆
大きさが20-58mm。数が多く平地の公園から山林まで様々な環境で見られる。



ニホンヤモリ●◆(夏)
大きさが10-14cm。夜行性で、灯りに集まる虫を食べにくることもある。



ツバメ◆(春・夏)
大きさが17cm。春に日本へやってきて、家の軒下など、人の近くで子育てをする。



ヒヨドリ
大きさが27cmほど。甘いものを好み、虫の他に花の蜜や果実なども食べる。



ツクツクボウシ
大きさが30mmほど。鳴き声が「ツクツクボウシ」と聞こえるのが名前の由来。



アゲハ
大きさが40-60mm。春生まれより、夏生まれの成虫の方が大きくて黒っぽい。



チビクワガタ●
大きさが11-16mm。一見クワガタに見えない姿だが、小さいアゴがちゃんとある。



ニホンカナヘビ◆(夏)
大きさが18-25cm。晴れた日は石や枝の上で日向ぼっこをする姿が見られる。

かはんりん
●河畔林とは

かはんりん な た
○河畔林の成り立ち



河畔林とは洪水などの影響をうける川の近くにある林で、佐瑛丘や猪名川自然林も河畔林として成立した林です。大雨や洪水の影響で河畔林の木は頻繁に流されていました。そのため、河畔林には成長がほかの木より早いエノキやムクノキが多い林ができました。



川の整備が進み洪水が起きなくなると、冬でも落ち葉を落とさないクスノキなどの常緑樹が育つようになり、エノキやムクノキの芽生えに必要な光が届かなくなります。

いながわしぜんりん
○猪名川自然林のこれから

川に挟まれた尼崎には昔からエノキやムクノキがたくさんあって、河畔林以外の場所にもはえていることがあるよ！



猪名川自然林でも、少しずつ常緑樹が大きくなり、地面まで光が届かなくなっています。このままでは、新しいエノキやムクノキが育たず、今あるものも倒れて、そこに集まっていたゴマダラチョウやタマムシ、小鳥などもすみ場所を失ってしまいます。



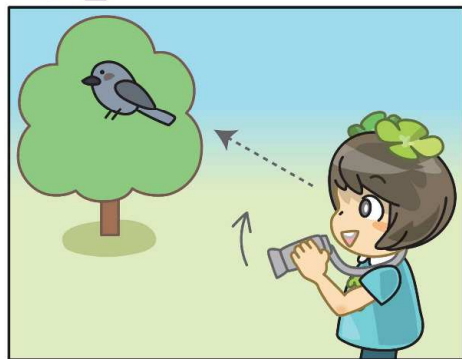
たくさんの生き物のすめる場所となるエノキやムクノキの林を復元し、守っていく活動が始まっています。猪名川自然林では、市民のみんなで協力しながら増えすぎた木を切るなど、光が入る明るい林を目指して整備活動を行っています。

●バードウォッチング

双眼鏡を持って鳥をさがしてみよう。

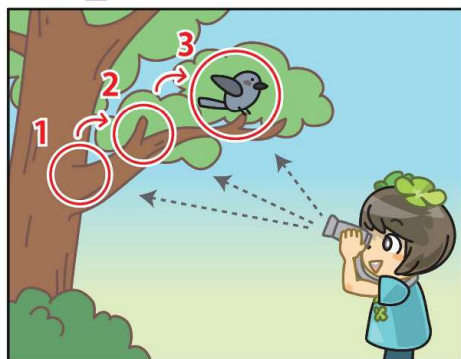
○双眼鏡の使い方

コツ① 視線はそのまま



鳥を見つけたら目ははなさず、双眼鏡を目に添えて観察してみよう

コツ② 目印を決める



鳥を見つけたら、大きなものを目印にして 幹→枝→枝先 のように順番に追っていき

●自然と文化の森協会

尼崎市と自然と文化の森協会は、猪名川自然林を含めた猪名川や藻川周辺で自然観察会や環境体験学習をしたり、林の手入れをしたりしています。



○猪名川キッズクラブ

自然の中で楽しみたい！自然を知りたい！と思ったら、家族と一緒に猪名川キッズクラブに登録してみよう！

【問い合わせ先】

「猪名川キッズクラブ」で検索



で 出かけてみよう (4) 田畑

● 田畑にいる生き物



ヒメズワラビ ●
水中や湿地にはえるが、農薬や除草剤などの影響で数を減らしている。



ヒメミソハギ ●
外来種との競争や湿地の埋め立て、農薬の影響などで数が減っている。



アキアカネ ●◆(秋)
大きさ 33-46mm。平地で生まれ、夏は涼しい山地で暮らし、秋にまた戻ってくる。



ムグドリ
大きさは24cmほど。夜になると集団になり、林や街路樹などで眠る。



ヒバリ ●
大きさは17cm。オスはなわばりを宣言する時、さえずりながら高く上昇する。



ニホンアマガエル ◆(夏)
大きさは20-45mm。緑や灰色など、環境の色に合わせ体の色を変化させる。

● 尼崎の伝統野菜



新田地帯(臨海地域)で昔盛んに作られていたサツマイモ。1950年のジェーン台風で全てなくなりましたが、復活に向けての取り組みが行われました。



武庫や富松の土地にできる一寸(3.3cm)ほどの大きなソラマメ。ソラマメは同じ場所で続けて栽培ができないうえに、農地や農家が激減しているため幻の豆となっています。



田能地区で栽培されているサトイモ。独自の栽培法により大量に収穫できないため、市場に出回ることがない貴重なサトイモとなっています。

○あまやさい



あまがさきで生産されたあやさい略して「あまやさい」。「あまやさい」のマークが入った野菜は尼崎市の農家さんが心を込めて作った安心で安全な新鮮野菜の目印です。

このマーク直売所や朝市で見たことあるよ！
地元の農家さんが作ってくれた野菜
おいしかったなあ



○地産地消

尼崎市の学校給食の食材は主に兵庫県産、米や野菜は季節によっては尼崎市産のものを取り入れています。



献立の産地は給食室で紹介しているよ
今日はどの食材かな？みてみよう！



●文化としての生物多様性



伝統野菜である「尼蒔」を氏神様のきふねさんに奉納するお祭り。祭当日は、焼き芋などが販売されます。



伝統野菜である「富松一寸豆」を富松神社に奉納し、地域の発展を祈願するお祭り。祭当日は、塩茹でしたソラマメの試食会や豆飛ばしコンテスト、即売会などが行われます。

で 出かけてみよう (5) 水路

● 水路にいる生き物

●: 希少種 ◆: つながり種 ▲: 外来種



デンジソウ ●
葉が漢字の「田」の字に見えることが名前の由来。開発や汚染で減っている。



ハグロトンボ ◆ (夏)
大きさ 57-67mm。チョウのようにひらひらと舞うように羽ばたく。



アメンボ ◆
大きさ 11-16mm。足先の毛の表面張力を利用して水面に浮かんでいる。

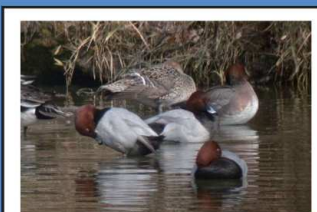
で 出かけてみよう (6) 海・運河

● 海・運河にいる生き物

●: 希少種 ◆: つながり種 ▲: 外来種



ユリカモメ ◆ (冬)
冬場に河口周辺で見られる種。大きさは40cmほどで、昼間は池や川にも現れる。



ホシジロ ◆ (冬)
大きさは40cmほど。冬になると渡ってくる。水中に潜って水草を食べる。



スズキ ◆ (冬)
河口・海環境を代表する種。大きさは20-60cm。大きさが呼名が変わる出世魚。

● 海釣りを楽しもう

○ 尼崎市立魚釣り公園



あまがさきしりつうお こうえん
尼崎市立魚釣り公園では釣りをすることができます。初めての人には、釣りのやり方を教えてくれたり、レンタル竿の用意や売店での仕掛けやえさの販売もしているため、手ぶらで釣りに来ることができます！また釣り大会や、期間限定のバーベキューなど様々なイベントも開催しています。

【問い合わせ先】

あまがさきしりつうお こうえん
「尼崎市立魚釣り公園」で検索 🔍



● 水路の役割

あまがさきしない ささまま ばしよ さいろ とお
尼崎市内の様々な場所に、水路が通っています。水路は農業用水路として農業で使う水を運んだり、地上に降った雨を安全に海まで流す役割があります。

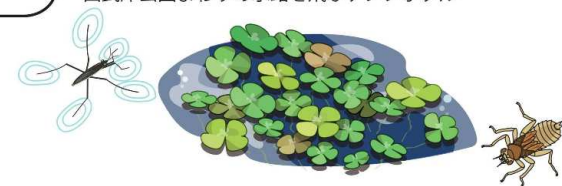
また、ホタルやトンボの幼虫、魚など生き物のすみかにもなっています。



生き物がいっぱい！



西武庫公園まわりの水路を飛ぶゲンジボタル



● 運河の役割

なんぶ こうぎょうちたい ぶつりゆう さき うみ よりひくい とち ちほお あまがさき かいすい なぎ
南部の工業地帯の物流を支えるとともに、海より低い土地が多い尼崎に海水が流れこまないよう水門を設置したり、ポンプで水を吸い出したりしています。

○ 水質浄化の取り組み

うんが みず ちっせい えいよう しょくぶつ おおく なって います。えいよう や プランクトン は 多すぎるとヘドロ発生の原因となるため、生き物の力を使って水をきれいにする取り組みが行われています。

二枚貝

二枚貝が水をきれいにしている様子

藻

藻が酸素を出している様子

干潟の生き物

人工干潟

※コウロエンカワヒバリガイは、外来種ですが昔から運河にすんでいたため、水質浄化に活用しています。

生き物の力を借りて、水をきれいにしているんだね



で ■出かけてみよう

あまがさき み い もの
● 尼崎で見られる生き物

●: 希少種 ◆: つながり種 ▲: 外来種



ドクダミ
公園や庭などの湿った場所によく生える。夏に咲く白い花は独特なおいがある。



ヒガンバナ◆(秋)
田畑に多く、秋に赤色の花が咲く。花が枯れたあとに葉が出てくる。



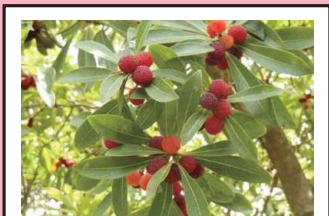
ユキヤナギ◆(春)
公園に多く、春には垂れ下がった枝に白い花がたくさん咲く。



アラカシ◆(秋)
樹林環境を代表する種。秋には、たてじま模様の小さなどんぐりができる。



シラカシ
木材にすると白いのが名前の由来。帽子に横じま模様があるどんぐりができる。



ヤマモモ◆(夏)
公園などにも植えられる。夏にできる赤い実は食べることができ、甘酸っぱい。



アカメガシワ
春に出る新しい若葉が赤いことが名前の由来。日の当たる場所に多い。



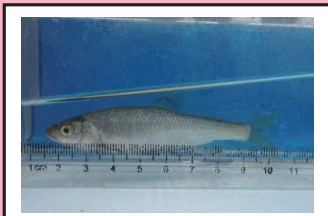
キンモクセイ◆(秋)
庭などにも多く、秋に咲くオレンジ色の花は強い香りがする。



hotoke-no-za◆(春)
春に赤紫色の花が咲く。日当たりのいい場所では一面に広がることもある。



ニホンウナギ●◆
川と海を行き来する種。乱獲や河川の整備の影響などで数が減っている。



オイカワ
大きさ 15cm。繁殖期のオスは色鮮やかになる。川の流れの早いところを好む。



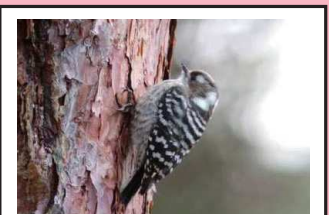
ドジョウ●◆
水辺でよく見られる種。大きさは20cmほど。口のまわりのヒゲは全部で10本ある。



カワラバト▲
大きさは30cmほど。よく目にする鳥。昔は伝書鳩としても使われていた。



ウグイス
大きさは15cmほど。「ホーホケキョ」とさえずり、冬は「チャッチャツ」と鳴く。



コゲラ◆
大きさは15cm。河畔林でよく見られる種。日本で一番身近で、一番小さなキツツキ。



マガモ◆(冬)
大きさは50-65cm。冬に渡ってくる。オスの頭は緑色でメスは体全体が茶色い。



オオヨシキリ●◆(夏)
大きさは17-19cm。ヨシ原でよく見られる種。夏に「ギョシギョシ」と鋭く鳴く。



アオサギ
大きさは88-98cm。河川でよく見られる種。じっと立ってえもの魚などを待つ。



イソヒヨドリ◆
大きさは23cmほど。メスは灰色のまだら模様、オスは青と赤で鮮やか。



ハクセキレイ◆
大きさは20cmほど。水辺でよく見られる種。えさを探しながら速足で歩く。



カワウ
大きさは80cmほど。水に潜って魚をとる。川だけでなく、海や池にも現れる。



ナマズ●◆
水辺でよく見られる種。大きさは60cmほど。ひげは成長すると6本から4本になる。



ボラ◆(春)
河口・海でよく見られる種。大きさは50cmほど。大群になり川を遡ることがある。



カゲヤシ▲
大きさは30-50mm。メダカとは尾びれと尻びれの形の違いで見分けられる。

あまがさき み い もの
● 尼崎で見られる生き物

●: 希少種 ◆: つながり種 ▲: 外来種



ヒゲジロハサミムシ

大きさ 16-25mm。力が強く、ハサミを使ってえものをとらえて食べる。



トノサマバッタ◆(夏・秋)

大きさ 35-65mm。河川敷や公園など明るい草地上で見られる。羽音をたてて飛ぶ。



アブラゼミ◆(夏)

大きさ 56-60mm。夏に「ジー」と鳴く。はねに色のあるセミは世界でも珍しい。



ニホントカゲ●

大きさ 16-25cm。自分で尻尾を切って逃げることもあり、尻尾はしばらく動く。



カヤネズミ●

大きさ 60mm ほど。ススキなどの葉で丸い巣を作る。日本で一番小さなネズミ。



ウシガエル▲

大きさ 11-18cm。夜行性で、「モーモー」と牛のような声で鳴くのが名前の由来。



キマダラセセリ

大きさ 13-17mm。河川敷などにある草原を好み、花から花へ素早く飛び回る。



キタテハ

大きさ 22-34mm。はねを閉じると茶色く枯れ葉の中ではみつけにくい。



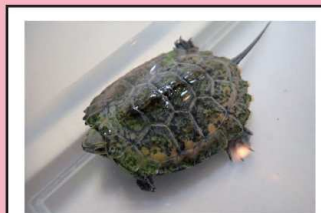
キアゲハ

大きさ 90mm ほど。アゲハより黄色く、幼虫もセリのなかまの葉を食べる。



ヌマガエル◆(夏)

大きさ 30-50mm。腹側は白い。水田を代表する種だが、畑や草原などにもいる。



ニホンシガメ●◆(夏)

大きさ 14-20cm。水辺でよく見られる種。環境破壊などにより減少している。



ヌートリア▲

大きさ 40-60cm。農業や生態系への影響が問題になっている。泳ぐのが得意。



カブトムシ●◆(夏)

大きさ 30-85mm。猪名川自然林でよく見られる種。オスには長いツノがある。



タマムシ●◆

大きさ 30-40mm。夏の暑い時間に活動する。緑と赤の金属のような色が鮮やか。



アオイトンボ

大きさ 34-48mm。成熟すると複眼は青くなり、体には白い粉がつく。



マツモムシ◆

大きさ 11-14mm。池などで見られる種。水面近くを背泳ぎで泳ぐ。



テナガエビ◆

藻川でよく見られる種。大きさ 90mm ほど。2本の長いあしが特長。



タイコウチ

大きさ 30-50mm。浅い池などで見られる種。かま状の前あしで魚などをとらえる。

環境によって見られる生き物も違うんだね！
いろんな生き物を探して、調べてみようかな

希少種も外来種も
まずは知ることからはじめてみよう！

あまがさき しぜん
尼崎の自然ハンドブック
令和 6年 3月
発行：尼崎市 経済環境局 環境部 環境創造課
TEL：06-6489-6301
FAX：06-6489-6300

生き物観察シート

しゅめい

種名

ねん がつ にち ようび あさ ひる ゆう よる てんき
年 月 日 曜日 (朝 昼 夕 夜) 天気

きづ

かんさつ

気付いたことや観察したことをかいてみよう

1cm

いろ
色

かたち
形

おお
大きさ

み ぼしよ
見つけた場所

き
気づいたこと

しら
調べたこと